

出。野集

三 華北時報社ニ於テ五月二十日

成人校五日実施報告書

不登校会場 赤穂郡有年中學校

不登校の主任者 文 嶋 友 義

月 日

所要時間 四課 自 四 講師 師

参加人員 四十七人 出席者

五月二十日

四時開始 社会保険制度 坂城中校長

四十七人

運営委員会

委員会には設置せしめ

成り立ち

委員会は設置せしめ

その氏名

日 月 年 月 日

総人員

四十七人

老 人

出席者

大席者

由男 女 合計 十人

青年

感想

婦 女

女 十七人

青年

感想

婦 女

の視察	山軍政部その他	向清	向清	向清	向清	向清	向清	向清
	山軍政部その他	向清	向清	向清	向清	向清	向清	向清
	山軍政部その他	向清	向清	向清	向清	向清	向清	向清

1 会場は良かったか 入り易い所であったか
 2 会場はきれいだったか 気持ちよく過ごしたか
 3 2人は熱心で又楽しく時を過ごしたか
 4 時間はあつたか 良かったか
 5 清師の話は良かったか 又よく解ったか
 6 本清師の効果をあげるための委員は働いたか
 7 本清師は有益であったか

三上入 訓 青羊

山軍政部

(2) 2004	(1) 全用討議をトカカシ下の印をかける (4) 批評より要約をとりだす	○は... ○は... ○は...
(3) 全用者	(1) 会場はあつたか、入り易い所であつたか (2) 会場はきれいで気持ちよきと思つたか (3) 又人々熱心で又早く時を過ぎたか (4) 時間にはあつたか、よかつたか	○は... ○は... ○は... ○は...
(4) 講師	(1) 講師の話はよかつたか、又よく解つたか (2) 本講座の効果とあけられたため委員は... (3) 本講座は有益であつたか	○は... ○は... ○は...
(5) 軍制部席者	七月二十日(水) 郡全体総講習会を八虎郡公会堂にて 全講師研究討論会を行つた	○は... ○は...
(6) その他の感想	全用者 意見書	○は...

全用者 意見書

全用者 意見書

昭和廿四年五月三十日

会場 養父郡西谷村役 公会堂

主任者 養父郡西谷中学校長 古田 隆雄

成人教育講座 實施報告書

月日 四月十二日 所要時間 三課 目 四 講 師 参考人員 内備 考

由運営委 委員長 (司会者) 西谷村長 中尾正三

副委員長 駐在員 中尾豊馬

委員 (進行系) 村会議員 中尾 薫

委員 駐在員 中尾 薫

委員 駐在員 中尾 薫

出席者 総人員 七一年会層 老人 四

出席者 男 四三 (多所) 壮年 二九

出席者 女 二八 (印) 青年 三七

司会者は問題への指示形式を提す。大か 講話及討議

出席者

プログラムの	講師	講師の座席	その他の感想
資料の準備はどうかであったか 公開討議をいかに以下に印をつける 批評したり要約したりしたか 会場はよかったか入り易い所であったか 会場はきれいで気持ちよきと思ったか みんな熱心で又楽しく一時を過したか 時向かあれでよかつたか 講師の話はうけよかつたか又よく解つたか 本講座の効果きあげたために委負は働いたか 本講座は有益であつたか			
プログラムの準備はどうかであったか 公開討議をいかに以下に印をつける 批評したり要約したりしたか 会場はよかったか入り易い所であったか 会場はきれいで気持ちよきと思ったか みんな熱心で又楽しく一時を過したか 時向かあれでよかつたか 講師の話はうけよかつたか又よく解つたか 本講座の効果きあげたために委負は働いたか 本講座は有益であつたか			
プログラムの準備はどうかであったか 公開討議をいかに以下に印をつける 批評したり要約したりしたか 会場はよかったか入り易い所であったか 会場はきれいで気持ちよきと思ったか みんな熱心で又楽しく一時を過したか 時向かあれでよかつたか 講師の話はうけよかつたか又よく解つたか 本講座の効果きあげたために委負は働いたか 本講座は有益であつたか			

七月二十日(水) 郡全体総講習会を八虎 郡公会堂に於て
全講師研究討論を行う

昭和四十四年五月三十日

② プログラム	① 資料の準備はどうか ② 公開討議と似たか ③ 批評はたゞ要約したか ④ 会場はよかつたか又入り易い所であつたか ⑤ 会場はきれいで気持ちよかと思つたか ⑥ みんな熱心で又楽しい時を過したか ⑦ 時間はあつたか ⑧ 講師の話はよかつたか又よく解つたか ⑨ 本講座の効果とあつたか ⑩ 本講座は有益であつたか	○はいい ○はまあ ○は悪い ○はひどい ○は最悪
③ 講師		○はいい ○はまあ ○は悪い ○はひどい ○は最悪
④ 日程		○はいい ○はまあ ○は悪い ○はひどい ○は最悪
⑤ 会場		○はいい ○はまあ ○は悪い ○はひどい ○は最悪
⑥ 感想	七月二十一日(水)郡全体総講習会を境郡公会堂にて全講師研究会討論を行ふ	○はいい ○はまあ ○は悪い ○はひどい ○は最悪

昭和四十年五月三十一日

昭和廿四年五月三十一日

会場

養文郡西谷村中階公会堂

主任者

養文郡西谷中学校長古田哲雄

成人教育講座 實施報告書

師 粟友良 (女) 備 芳

一月 日

所要時間 三課 日 四講

四月十九日

五時開

氏主々義 氏向教育

南谷中学校長荒田隆

中 滝正三

(七) 運営委員

委員 長 (司会者)

西谷村長

菅原壽々枝

委員 長 (進行系)

駐在員

山根精逸

委員 長

山下地区委員

山根正雄

委員 長

令右

菅原静枝

(八) 出席者

総人員

三三三 年令層

老人

二

出席者

内男

一九甲 多、所、以

壮年

一一

出席者

内女

一四 〇印

青年

二〇

① 司会者問題を何の形式で提出したか

講話及討議

出席者一般聴衆者の
感想心あつた

④プログラムの	④資料の準備はどうであったか ⑤公開討議をどうにか ⑥批評—どう要約したか ⑦会場はよかったですか ⑧会場はきれいで気持ちよかったですか ⑨みんな熱心で又楽しく時を過したか ⑩時間はあつたか ⑪講師の話し方はよかったですか ⑫本講座の効果をどう思っていますか ⑬本講座は有益であつたか	○は下紙芝居 ○は ○は ○は ○は ○は ○は
③		○は
②		○は
①		○は
①講師		○は
①		○は
①		○は
①		○は
①		○は
①		○は
①		○は
①		○は
①		○は
①		○は
①		○は
①		○は
①		○は

昭和四十四年五月三十日

七月二十日(水)郡全体懇話会と八虎郡公会堂にて
全講師研究討論会を行つた

七月二十日(水)郡全体懇話会と八虎郡公会堂にて
全講師研究討論会を行つた

七月二十日(水)郡全体懇話会と八虎郡公会堂にて
全講師研究討論会を行つた

七月二十日(水)郡全体懇話会と八虎郡公会堂にて
全講師研究討論会を行つた

七月二十日(水)郡全体懇話会と八虎郡公会堂にて
全講師研究討論会を行つた

七月二十日(水)郡全体懇話会と八虎郡公会堂にて
全講師研究討論会を行つた

七月二十日(水)郡全体懇話会と八虎郡公会堂にて
全講師研究討論会を行つた

七月二十日(水)郡全体懇話会と八虎郡公会堂にて
全講師研究討論会を行つた

七月二十日(水)郡全体懇話会と八虎郡公会堂にて
全講師研究討論会を行つた

七月二十日(水)郡全体懇話会と八虎郡公会堂にて
全講師研究討論会を行つた

七月二十日(水)郡全体懇話会と八虎郡公会堂にて
全講師研究討論会を行つた

昭和二十四年六月一日

多可郡

会場 中町中学校

主任者 藤田弥吉

成人教育講座実施報告書

一月日	講座時間	講座名	講師	参加人員	備考
五・一〇	三	法政	安日課長	五二六	
五・一三	二	法政	藤田弥吉	四二二	
五・一六	三	民間教育	藤田弥吉	四二〇	
五・一九	二	社会保険	藤田弥吉	三三〇	
五・二三	二	公民館	藤田弥吉	三三五	
五・二七	三	経済と労働	岩長	九八	

藤田弥吉 橋本武 尾藤熊夫 三好善寿 仁

運営委員 成り立ち 名

三車系多可郡中丁中學校

昭和二十四年五月十一日

會場 兵庫縣神戶市甘地小(中兼用)學校講堂

主任者 神戶郡甘地村立甘地中學校校長 堀 義雄

兵庫縣教育委員會 殿

成人教育講座實施報告書

(一) 月日	(二) 所要時間(三) 課目	(四) 講師	(五) 參加人員	備考
四月二日	四時 公眾衛生	盛野慶治	三七	幻燈映字
四月九日	社會保障制度	山吹鉄次	四二	堀 義雄
四月十六日	民主主義の精髓	堀 義雄	八九	
四月二十三日	民間教育	堀 義雄	四一	
四月三十日	情報と國子と自衛	駒田正巳	三一	
五月七日	經濟と労働	荒木新太郎	五三	

五月十日	五	治政	増田徳治	五之	リ
委員長	堀義雄	副委員長	山本九市	九坪り次	
運営委	委員 楠田操	山本勝枝	楠田鶴一	後藤十郎	
委員の成り立ち	鳥居房	増田良一	下村敏子		
その他	鳴瀬市 盛野禮治	山内鉄次	駒田正巳	荒木新太郎	増田徳治
顧問	永良政	市			
(イ)	総入員	三四九人			
出席者	男	一五三人	老年	出席者	興味深き交渉
	女	一八五人	青年	の感想	
			層		
<p>1. 司会者は問題などの持ち出し式で提言する</p> <p>2. 資料の準備はどうか</p> <p>他に資料をどうするか</p>					

(九) プログラム	3 公開討論会—なか (以下〇をつける)	〇はい い、え
	4 批評—なり要約—なりしんか	はい 〇い、え
	1 会場はよかつたか 入り易い所であつたか	〇はい い、え
	2 会場はよいかで気持ちがよいと思つたか	〇はい い、え
(八) 講師	3 友人な熱心で又楽—く時を過—たか	〇はい い、え
	4 時間はあつたか	〇はい い、え
	5 講師の話—よかつたか 又よかつたか	〇はい い、え
	6 本海地の効果があるか否かは聞いたか	〇はい い、え
	7 本海地は有益であつたか	〇はい い、え
(七) 車致部準備	なし	
(六) 其他の感想	本海地は続けようと思ふ	
想	幻燈フィルムの人向のよいをわ—てほ—	

昭和二十四年六月二十五日

会場 朝来郡東河村東河中学校

主任者 朝来郡東河中学校長 有本二郎

成人教育講座実施報告書

月日	所要時間	課目	講師	参加人数	備考
四二一	三時間	社会保障制度 日本に於ける主なる厚生事業	栗本 能見 武 藤原 信夫	二二八	
四二二	三時間	民主主義の精髄 民主国に於ける教育目標	栗本 有本 二郎 安達 久	三二一	
四二三	三時間	労働教育 労働問題	栗本 小林 毅 郎 足立 秀 天	二九八	
四二四	三時間	健康と衛生 健康と盛衰との関係は病氣である 個人の健康と衛生	栗本 宇福 順 吉 木村 村 医	二六三	

朝来郡東河村小學校



七、一五	二時間	研究討議	朝来郡中学校長八名 全小学校長 十名	竹田町那公会堂 (未完了)
七、一五	開演者川島も西ヨサ。実地を率てはります。			
運営本員会 の設立と その氏名	校長 学校 諸団体 有識者等と以て組織した。協賛会。 足立雅之助。青山好成。足立周一。藤原信夫。上道晴夫。夜久千代子。 有本二郎。安達久。高木孝司。足立一郎。足立よゑ。 富山初枝			
出席者	総人員 六八五人	年齢層 老人 青年	出席者に 青年層の活発な討議と してより 婦人層の熱心な態度 感想 感謝しています	討議 (映画 幼遊 紙芝居) 資料統計 絵画等 万全と 期しました
プログラム	司会者は問題と何の様式で提出したか。 資料の準備はどうか。 公開討議と下層の以下。即ち以下 批評同様に要約し感想を述べたか。			
月 日 可 小 星 夜	のはい	のはい	のはい	のはい

トクダマ	会場はよかつたが入り易い所であつたか 会場はきいて気持ちよいつと思つたか みんな熱心で又楽しく時を過したか 時間があつたよかつたか	○はい ○はい ○はい
講師	講師の話はよかつたか又よく解つたか 本講座の効果もあげられたか 本講座は有益であつたか	○はい ○はい ○はい
三軍及部首席	三軍及部首席	○はい
感想	この講座の刺戟となり青年團及び各部落に於て種々討論会が 開催され各方面にその実績を挙げております。	○はい

専任 君 東 河 小 島 松

その他の感想	二軍政界出席		(回)講師		七口シラム		ハ出小考
<p>その他感想</p>	<p>二軍政界出席</p>	<p>本講座は有益であったか</p>	<p>講師の話し方は良かったか 又よく解ったか</p>	<p>1. 会場は良かったか、入り品は所びあつたか 2. 会場はきれいで気分がよいと思つたか 3. 又熱心で又楽しく時が過ぎたか</p>	<p>4. 批評したり要約したりしたか 5. 公衆討論としたか(以下の印をつける) 6. 批評したり要約したりしたか</p>	<p>7. 公衆討論としたか(以下の印をつける) 8. 批評したり要約したりしたか</p>	<p>性別 男 年齢 五九人 年令層 (多い所印) 壯年 〇 青年 〇</p>
<p>その他感想</p>	<p>二軍政界出席</p>	<p>本講座は有益であったか</p>	<p>講師の話し方は良かったか 又よく解ったか</p>	<p>1. 会場は良かったか、入り品は所びあつたか 2. 会場はきれいで気分がよいと思つたか 3. 又熱心で又楽しく時が過ぎたか</p>	<p>4. 批評したり要約したりしたか 5. 公衆討論としたか(以下の印をつける) 6. 批評したり要約したりしたか</p>	<p>7. 公衆討論としたか(以下の印をつける) 8. 批評したり要約したりしたか</p>	<p>感想 老人層は低調</p>

昭和二十四年六月廿五日

会場 山口中學校

主任者

北垣忠雄



成人教育講座実施報告書

日	日	所要時間	目	主務人員	五参加人員	六備考
四	二二	三	民主主義の精髄 民間教育	堀口尚 友尾三郎	六三	但し人員は二回の延人員 七三、郡大会開催の予定
五	七	三	同	同	右	

運営委員
昭和二十四年四月一五日 山口村役場下於て運営委員会開催
山口村長 山口金重郎 全中学校長 北垣忠雄 全小学校長 福井重雄
全佐藤小学校長 友尾三郎

其の成否
其の氏名

<p>昭和二十四年六月廿五日</p>	<p>朝来郡山口中學校 会場(山口村新井神照院) 主任者 北 堀 忠 雄 兵庫縣朝来郡 山口村立山口 中學校長之印</p>			
<p>六日 日</p>	<p>所要時間 三課</p>	<p>目 経済労働情報に 関する手引</p>	<p>五参加人員 渡辺元俊 福井重雄</p>	<p>五参加人員 六備考</p>
<p>四、二三</p>	<p>三</p>	<p>経済労働情報に 関する手引</p>	<p>渡辺元俊 福井重雄</p>	<p>六三 但し人員は二回の 延人員 七五、郡大会開催 の予定。</p>
<p>五、八</p>	<p>三</p>	<p>同</p>	<p>同</p>	<p>同</p>
<p>運営委 山口村役場にて、運営委員会開催。 山口村長 山口金重郎 全中学校長 北堀忠雄、全小学校長 福井重雄、全佐濃小学校長 坂屋三郎</p>	<p>其の成り 其の成り</p>			

昭和二十四年六月五日		成人教育講座実施報告書		朝来郡山口中學校 会場 山口村田路分教場 主任者 北 恒 忠 雄	
一日	二所要時間	三課	四目	五参加人員	六備考
四、二四	三	公眾衛生	八橋長次郎 山崎 泰	五参加人員	六備考
五、九	三	同	同 右	四三	人員は二四の延 人員 七、五、部大会開催 の予定。
運営委 七、委員の成立 具、氏名	昭和二十四年四月二十五日山口村役場にて運営委員会開催 山口村々長、山口金重郎、今村中学校長北垣忠雄、今小学校長 福井重雄、今佐藤小學校長 茂尾三郎				
記入者	日	人	年	月	日

兵庫縣朝来郡
山口村立山口
中學校長印

その他の感想	二軍政部出席	(5) 講師	(4) 出席者		年齢層	性別	出席率
			男	女			
		1. 会場は良かったか、入り易い所であったか 2. 会場はきれいで気持ちよかったですか 3. みんな熱心で楽しんでましたか 4. 講師の話は面白かったですか 5. 本講座の効果をありとあらゆる角度から評価はどうか 6. 本講座は有益であったか	37人	6人	(多ハ所ト)	青年	女子の出席率悪し
	なし						切燈機準備

		昭和二十四年六月廿五日		成人教育講座実施報告書	
		朝来町山口中学校		会場 (山口村佐裏山学校)	
		主任者		北垣忠雄	
一日	二所要時間	三課目	五講加人節	五参加人員	六備考
四二五	三	法	的場性前 井上武	五 〇 〇 〇	人員は二回の延 人数
五、一〇	三	同	同	〇	七、二五、部大会を周 確の予定
運営委	昭和二十四年四月一五日 山口村役場にて運営委員会開催。				
(七)委員の氏名	山口村公長 山口金堂郎 全林中学校長 北垣忠雄、全小学校長				
其の氏名	橋本重雄 全佐裏小学校長 友尾三郎				



五月十日	五月九日	五月八日	五月七日	五月六日	五月五日	四月三十日
三	三	三	三	三	三	三
公共衛生	愛國經濟	民主教育	社會保障	法政	公共衛生	公共衛生
中川村助役 池田 勉	中川村助役 池田 勉	中川村助役 池田 勉	中川村助役 池田 勉	中川村助役 池田 勉	中川村助役 池田 勉	中川村助役 池田 勉
三二〇	三三〇	三四六	三六〇	三八〇	三三〇	三二〇

中川村助役 池田 勉

五月十日

(七)	成人教育講座開催につき、九記委員を挙げて												
運営委	として協議し、期日、講師の配置、講座課目、講												
員会会成	座開催場所等を決定し、事前工作として各部												
り来者と	若者に講座の趣旨をどうに依つて知らしむ												
その氏名	運営委員会の人々トテの通り												
講師	中川中学校長 劫場住二												
	中川中学校長 藤尾義徳												
	中川小学校長 田中たけ武												
	中川小学校長 近本清喜												
	中川村部落代表 小谷春吉												
出席者	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="487 949 574 1186">総人員</td> <td data-bbox="487 1186 574 1407">三十五人</td> <td data-bbox="487 1407 574 1629">年令</td> <td data-bbox="487 1629 574 1850">老人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="487 949 574 1186">男</td> <td data-bbox="487 1186 574 1407">二十九人</td> <td data-bbox="487 1407 574 1629">層</td> <td data-bbox="487 1629 574 1850">壮年</td> </tr> <tr> <td data-bbox="487 949 574 1186">女</td> <td data-bbox="487 1186 574 1407">六人</td> <td data-bbox="487 1407 574 1629">層</td> <td data-bbox="487 1629 574 1850">青年</td> </tr> </table>	総人員	三十五人	年令	老人	男	二十九人	層	壮年	女	六人	層	青年
総人員	三十五人	年令	老人										
男	二十九人	層	壮年										
女	六人	層	青年										
明後日川中開校	<p>老人青年青年男女 各年令層を集めての 講座は中々あつたとい う事は、よつて年令層 を区分する必要がある</p>												

専任者中ノ口述本

(九) 万石の	1. 司会者は問題と何の様な形式で提出したか 2. 資料の準備はどうかあったか 3. 公開討議をしたか(○印をつける) 4. 批評しなり要約したか	前記の問題を専ら一見と理解させておいて討議した 図表又は表解を用きあしく説明してゆくもの
(可) 諸評	1. 会場はよかつたか入り易い所であったか 2. 会場はよかつたか気が持たないと思つたか 3. みんな熱心か又 呆れと時を過したか 4. 時間はあつたかよかつたか 5. 講師の話し方はよかつたか又よく解つたか 6. 本講座の効果はあつたか否かの意見を仰ぐか 7. 本講座は有益であつたか	はい はい はい はい はい はい はい
軍政記者記者	はい	はい
(三) その他の感想	講演の趣旨はよくわかつたが教養については大衆の程度をよく考へることが必要であるといふ点に注意を要する	講演の趣旨はよくわかつたが教養については大衆の程度をよく考へることが必要であるといふ点に注意を要する

必要ありあり

成人教育講座実施報告書
 会場 兵庫縣朝来郡和田山中學校
 和田山町 桑原部 協成
 主任者 近本清喜

月 日
 五月十一日
 三

課 目
 民主主義の精神
 社会保障

講 師
 和田小学校長
 石原民生委員

備 考
 和田山町
 桑原部 協成

運営委員
 会 成り立と
 之の氏 名

森井子一 鎌田まさ志
 倉負の互選による
 森井勇 森井ふさ志

出席者

総人員		年齢層		出席者	
男	女	青年	壮年	老人	出席者
三	二	一	三	七	大伴一平 一人位 別表

プログラム

1. 司会者日尚敷と云ふ形を提出したが、尚題を講演の形
 2. 資料の準備はどうか
 3. 公開討論はどうか
 4. 批評したり要約したりしたか
 5. 会場はどうか
 6. 入り易い所であったか

箱不十分

はい
 はい
 はい
 はい
 はい
 はい

成人教育講座実施報告書
 兵庫縣朝来市和田山中學校
 会場(東河村柳原公會堂)
 主任者 近本青喜

月日	講座	講師	備考	出席者		その他
				男	女	
五月十日	三	後藤豊平 青山増太郎 加藤小三郎氏を世話人として別に運営委員としては設けず	東河村 柳原部落	22	18	1. 司会者は尚且とんかな形で提言したが、講演の形 2. 資料の準備はどうかであったか 3. 公開討論をしたか 4. 批評したり要約したりしたか 5. 会場はよかつたか、入り易い所であったか 6. 会場はさし水が気がつかないと思つたか
	後藤豊平 青山増太郎 加藤小三郎氏を世話人として別に運営委員としては設けず	東河村 柳原部落		22	18	講演の形 不十分

会成り止と
その氏
名

別に運営委員として設けず

その他感想
軍政出席者

講師

プログラム

出席者

総人員		年齢層			出席者	
男	女	青年	壮年	老年	感想	大体良好
二三人	一人	一人	一人	二人	感想	大体良好
八人	一人	一人	一人	二人	感想	大体良好

1. 司会者は尚敷と云ふ形を提出したが、	講演の形
2. 資料の準備はどうかであったか、	結果十分
3. 公開討議をしたか、	はい
4. 批評したり要約したりしたか、	はい
5. 会場はよかつたか、入り易い所であったか、	はい
6. 会場はよかぬが、気が持たぬと思つたか、	はい
7. 十分な熱心で又楽しく時を過ごしたか、	はい
8. 時間はあれでよかつたか、	はい
9. 講師の話振りはあれでよかつたか、又よく解つたか、	はい
10. 本講座の効果をわけるために委員は働いたか、	はい
11. 本講座は有益であったか、	はい

兵庫縣朝來郡和田山中學校



成人教育講座実施報告書
 会場(和日山町市御堂講堂)
 主任者 近本清喜
 兵庫縣朝來郡和日山中學校

五月十日

課目
 民主主義の精髄
 公衆衛生

講師
 近平中學校長
 役場中島民生係

備考
 和日山町
 市御堂講堂

運営委員
 会
 氏名

篠岡貞喜氏を世話人として別に運営委員會をもちます

出席者

総人員		年齢層		性別	
男	女	青年	壮年	老年	出席者
45人	25人	3	3	4	出席者
		3	3	4	出席者

出席大要下ろし

フワクラム

1. 司會者は尚題をどうなるかを提案したが、講堂の形
 2. 資料の準備はどうかであったか
 3. 公開討論をしたか
 4. 批評したり要約したりしたか

15
 15
 15
 15

成人教育講座実施報告書

会場(和日山町法興寺公衆堂)
主任者 近本清喜

兵庫縣朝来郡和日山中學校

月 日 所
期 間 課 目 講 師 参 加 人 員 備 考

五月十日

三

公衆衛生
法制

堀田保健医
田川操 兼 庁 事 官

和日山町
五ノ原 部 落
法興寺

運営委員
会の成り立ちと
その氏名

辰花藤一 田中七郎 古屋敷春枝 世話人として
別に運営委員層をもちます

出席者

給人員		年齢層		出席者	
男	女	老年	壮年	青年	少年
二八人	一人	七	三〇	一	三
合計 四〇人		出席者 三七人		欠席者 三人	

大体良好

1. 司会者は問題などを形を提示したか

満足の状態

2. 資料の準備はどうか

補不十分

3. 公開討論をしたか

4. 批評したり要約したりしたか

7. 口グラム

はい
はい
はい
はい
はい



手塚朝美 田中 徳

<p>想 心 成 代 の の</p>	<p>有 者 出 高 段 金</p>	<p>講 師</p>	<p>出 席 者 名</p>
<p>本講は午後九時から行われ、</p>			
<p>本講は午後九時から行われ、</p>			
<p>本講は午後九時から行われ、</p>			
<p>本講は午後九時から行われ、</p>			
<p>本講は午後九時から行われ、</p>			
<p>本講は午後九時から行われ、</p>			
<p>本講は午後九時から行われ、</p>			
<p>本講は午後九時から行われ、</p>			
<p>本講は午後九時から行われ、</p>			
<p>本講は午後九時から行われ、</p>			
<p>本講は午後九時から行われ、</p>			
<p>本講は午後九時から行われ、</p>			
<p>本講は午後九時から行われ、</p>			
<p>本講は午後九時から行われ、</p>			
<p>本講は午後九時から行われ、</p>			
<p>本講は午後九時から行われ、</p>			
<p>本講は午後九時から行われ、</p>			
<p>本講は午後九時から行われ、</p>			
<p>本講は午後九時から行われ、</p>			

箱
不
良

箱
不
定
形

箱
不
定
形

箱
不
定
形

箱
不
定
形

箱
不
定
形

箱
不
定
形

箱
不
定
形

箱
不
定
形

箱
不
定
形

箱
不
定
形

箱
不
定
形

箱
不
定
形

箱
不
定
形

箱
不
定
形

箱
不
定
形

箱
不
定
形

CORRECTION

THIS DOCUMENT
HAS BEEN REPHOTOGRAPHED
TO ASSURE LEGIBILITY

成人教育講座実施報告書
 会場 (和田山町和田山中学校講堂)
 主任者 近本清喜
 兵庫縣朝來郡和田山中學校

月 日
五月十日

所要時間
三

課 目
経済と労働
法制

講 師
松村繁泰 署長
裁判所長

参加人員
一三二

備 考
和田山町
和田山郵務

運営委員
会 成り立ち
その氏 名

出席者

総人員	一三二
男	七五人
女	四五人

年令層

老人	四
壯年	五九
青年	四九

出席者に
感懐
稍不良

但身能之助氏を世話人として別に運営委員会をもち可

プログラム

1. 司会者は問題と内容が不明な提問したが、
 2. 資料の準備はどうかであったか
 稍不良

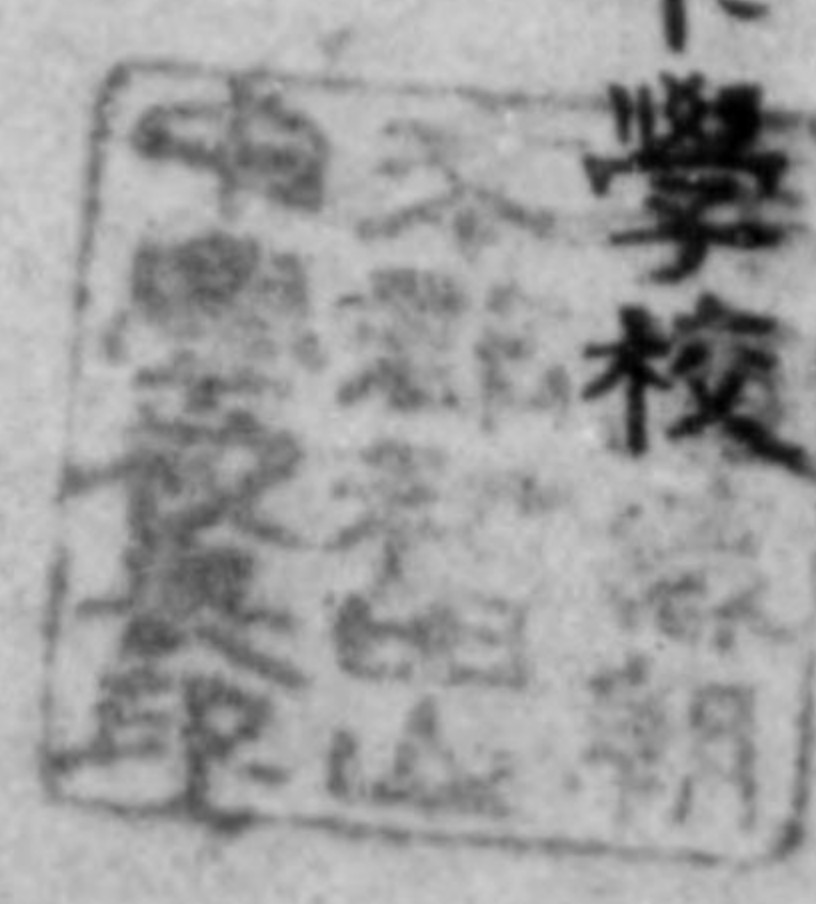
成人教育講座実施報告書
 会場(和日山町玉置公会堂)
 主任者 近本清喜

兵庫縣立和日山町中學校

月日	講座	講師	参加人数	備考
五月九日	三 民主主義の精髄 社会保障	近本中學校長 石原民生委員	二十八	和日山町 玉置公会堂
出席者	総人数 二十八人 男 四五人 女 二二人	年齢層 老人 二人 壮年 三人 青年 二人	出席者 二十八人 欠席者 一人	備考
プログラム	1. 司会者は問題と人な形を提示したが、 2. 資料の準備はどうかであったか、 3. 公開討論をしたか、 4. 批評したり要約したりしたか、 5. 会場はよかつたか、入り易い所であったか、 6. 会場は水が気持がよいと思つたか、	北垣芳郎 山田ちのの両氏を世話人として別に進言委員をもちました	講座の形 稍不十分	はい はい はい はい はい はい

その他感想	軍政官出席者	講師	プログラム	出席者		年齢層	性別	出席者感想						
				男	女									
		講師の語りはあれでもよかったが、又よく解ったが、	1. 司会者は問題と内容が提議したが、	2. 資料の準備はどうかであったか、	3. 公開討論をしたか、	4. 批評したり要約したりしたか、	5. 会場はよかったか、入り物、所であったか、	6. 会場はきれいな気が持たよいと感ったか、	7. 気分は熱心か、又楽しく時を過ごしたか、	8. 時間はあるでよかったか、	9. 講師の語りはあれでもよかったが、又よく解ったが、	10. 本講座の効果を高めるために要員は働いたか、	11. 本講座は有益であったか、	出席者感想
				2	2	若年	男	補不足						
				2	2	青年	男	補不足						
				2	2	中年	男	補不足						
				2	2	老年	男	補不足						
				2	2	若年	女	補不足						
				2	2	青年	女	補不足						
				2	2	中年	女	補不足						
				2	2	老年	女	補不足						

兵庫縣朝来郡和田山中學校



成人教育講座実施報告書

兵庫縣明石市和山中學校
 会場(和山町枚田寺院)
 主任者 近本清喜

五月八日	三	法制 民主主義の精髄	橋本裁判所長 西村小學校長	八三 枚田部彦	和山町 枚田部彦	考
出席者	総人員 八三人 男 五四人 女 二九人	年齢層 老人 二 壯年 三 青年 四	出席者 出席者 出席者	出席者 出席者 出席者	出席者 出席者 出席者	出席者 出席者 出席者
運営委員 会(成り立ち の氏名)	居相善太郎 場口ほか氏と世話人として別に運営委員 会をもたす					
出席者	出席者					
その他	その他					

1. 司会者は向後どうなるか
 2. 資料の準備はどうか
 3. 公開討論をしたか
 4. 批評はなされたか
 5. 会場はよかつたか
 6. 会場はよかつたか

大伴 とうろう

はい
はい
はい
はい
はい
はい

その他感想	軍政官出席者	講師	アロケラム	出席者		年齢層	性別		出席者に たいしての 感想
				男	女		若年	老年	
		1. 時間よかれずよかつたか	1. 公開討論をしたか	29	2	若年	老年	出席者	大伴良好
		2. 講師の活躍はあつたか	2. 批評したり要約したりしたか	29	2	若年	老年	出席者	大伴良好
		3. 本講座の効果をあげたために委員は働いたか	3. 会場はよかつたか入り物に所があつたか	29	2	若年	老年	出席者	大伴良好
		4. 本講座は有益であつたか	4. 会場はよかつたか入り物に所があつたか	29	2	若年	老年	出席者	大伴良好
			5. 会場はよかつたか入り物に所があつたか	29	2	若年	老年	出席者	大伴良好
			6. 会場はよかつたか入り物に所があつたか	29	2	若年	老年	出席者	大伴良好
			7. 会場はよかつたか入り物に所があつたか	29	2	若年	老年	出席者	大伴良好
			8. 会場はよかつたか入り物に所があつたか	29	2	若年	老年	出席者	大伴良好
			9. 会場はよかつたか入り物に所があつたか	29	2	若年	老年	出席者	大伴良好
			10. 会場はよかつたか入り物に所があつたか	29	2	若年	老年	出席者	大伴良好

兵庫縣朝來郡和田山中學校



成人教育講座実施報告書

会場 和山町 和田園身院
主任者 近本清喜

三車原町 三三〇日 山日 学文

月 日

七月九日

時間

三

課 目

公衆衛生
社会保障

講 師

市川保健所長
役場中島民生係

参加人員

八三

備 考

和山町
和田園身院

運営委員
会の成り立ちと
その氏名

森井惠肅 岡田秀一 森井恵かほり 氏を在任人とし、
別に運営委員會をもちたす

出席者

総人員

一八三

年齢層

先人

二

出席者

精良好

男	五八人
女	二五人

壯年	四九
青年	三二

出席者
の
感想

出席者は向学意欲をもち、
積極的に参加した。

講演の形

昭和二十四年六月二十四日

兵庫県明石市立大藏中学校長 加納 弘

縣教育委員会 社會教育部長 殿

成人教育講座實施報告書の件

表題の件につき別紙を通り報告いたします

明石市立大藏中学校

五二八	三〇〇	食糧問題 一般経済情勢と経済法 施行機関	日下基一	三		
六四	三〇〇	新憲法 選挙法と政治現況 日本の地方政治	日下基一	一六		
五二一	三〇〇	政府の費用と支拂 親族法	日下基一	三一		
六二八	三〇〇	裁判制度と刑事訴訟法 社会保償制について 日本における主要な事業 保健計画 健康と生活	森川啓一 日下基一	一四		

一 田口計三博士中島松

個人健康と衛生 池田純治

七 運営委員会、成り立ちと委員名

校下社会教育委員会、青年会役員、婦人会長及小学校長

学校職員及び構成

赤尾豊治部 上田豊一郎 小倉千景 加藤直三

久礼邦人 内匠方之 二階堂隆州 高月義男

上田龍五郎 北村一校 服部敏男 上田陽隆

丹羽スズ 網岡文米子 本岡加代子 大内香次

小林文雄 小川由二 岡本初滋 村田七子

立賜文雄 東條友規 平野三郎 鈴木滋子

堀本富雄氏

総人数 九九人 出席 壮年層の多いのは

出席者 男 四十八人 年齢層 壮年層 出席者 喜町

明石市立大蔵中學校

<p>世評</p>	<p>子一五又 可會者は内題を何の様か式で提出した 資料の準備はどうかあったか</p>	<p>素直な人感心 席者の少数であるのは遺憾 プロセス法によった 不十分な長かあり</p>
<p>九プロ 小</p>	<p>公開討議（印） 批評したる要約した</p>	<p>はい</p>
<p>丹</p>	<p>会場はよかったか入り易い新であったか</p>	<p>はい</p>
<p>上</p>	<p>会場はきつが気持ちよといふか</p>	<p>はい</p>
<p>又</p>	<p>みな熱心が又楽しき時を過したか</p>	<p>はい</p>
<p>講師</p>	<p>時々はあつたか</p>	<p>はい</p>
<p>本</p>	<p>講師の話はよかったか又よく解ったか</p>	<p>はい</p>
<p>本</p>	<p>講演の効果あつたか</p>	<p>はい</p>
<p>本</p>	<p>講演は利益あつたか</p>	<p>はい</p>

一軍政部及其他視察

五月二十日兵庫社會教育課宮垣主子視察

明石市立大藏中學校

昭和三十四年六月二十三日

会場 大観小学校、明石小学校

主任者 明石市衣川中学校校長 山本武一

成人教育講座実施報告書

(一) 月日	(二) 所要時間	(三) 課目	(四) 講師	(五) 参加人員	(六) 備考
五、二一	三時間	(通の紙別)	上月宗夫	三一	大観小学校講堂
五、二八	三〃		加納 弘	二三	明石小学校
六、四	三〃		破野 仁	二六	大観小学校教室
六、二一	三〃		日下基一	一四	
六、二八	三〃		木林川啓一	一五	
六、二八	三〃		池田純治	一五	

(七) 運営委員会
 の成り立ちと
 の氏名

校下社会教育委員、育友会長、婦人会長及小学校長と衣川中
 校職員より成る。

安藤 貴之助、石井 勉太郎、池田 純治、宇野 孝次、木下 吉次郎、西園 五郎、
 杉 不賢純、(以上社教委) 丸本 三郎、鳴尾 建三、宮田 文子、池田 唯、(育友会)
 金子 ます子、(婦人会長) 山本 宗一、古川 三次、(小学校長) 松田 繁三、
 高尾 重天、(中学校長) 橋本 宗一、神保 政夫、(以上衣川中教諭)

月 5 日 衣川中 発表

成人教育講座プログラム

兵庫縣明石市衣川中學校

番号	月日(曜日)	時	間	所要時間	課目	講師	會場
1	五月二十一日(土)	午後二時	五時	三時間	民主主義の精髄	上月宗夫	大觀校
2					目やめた選挙民		
					民主國における教育目標	学校長	
					新日本の教育改革		
					教育とは絶えず反ばす 影射日である		
3	五月二十八日(土)	午後二時	五時	三時間	労働教育	砂野仁	明石校
					労働法規		
4					食糧問題		
					一般経済情勢と経済 法施行規則		

10	"	9	"	8	"	7	"	6	"	5
		六月十八日(土)				六月十五日(土)				六月十四日(土)
		午後 二〇〇一五〇〇				午後 二〇〇一五〇〇				午後 二〇〇一五〇〇
		三時				三時				三時
	個人の健康と衛生	健康を益するもの その小は病氣である	保健所について	日本における厚生事業	社会保険制度について	裁判制度と刑事訴訟法	親族法	政府の費用と支拂い	日本の地方政治	選挙法と政治の現状
	"	"	池田純治	"	森川啓一	"	日下基	"	"	日下基
		大観校			大観校					大観校

昭和二十四年六月十八日

会場 姫路市立琴陵中学校

主任者 姫路市立琴陵中学校校長 江見孝

成人教育講座定施報告書

月日	所要時間	課目	講師	参加人員	備考
五月八日	四	経済法律政治	市参政育保 吾田俊三	二五〇	
五月十六日	四	厚生 公衆衛生	琴陵中学校校長 畑中野香次	二三八	
六月十五日	二	教育	学扶長 江見孝	三一三	
(イ) 運営委員 八 運営委員会は P.T.A 役員と学校教官で講成した (ロ) 会の成立と 二 委員扶長 江見孝 教官高田正太郎 中野香次 畑中野香次 藤川惣太郎 (ハ) その氏名 P.T.A 会長 上野新七 副会長 河原高則 今計 永春珠一 委員長 黒田勇					
出席者	総人員	八〇一年令層	老人	出席者	八 晝間に開催したため
男	二八五	少年	〇	女子が多数	二 育及会参観日と兼ねたため P.T.A の役員が多数
女	五二六	青年	感想		

兵庫縣教育委員会

視察 其の他の (二)軍政部	市社会放育課の視察を受けり	
(一)	1. 会場はよかつたか 2. 会場は奇麗で気持ちよと思つたか 3. 出名人は熱心に楽しく時を過したか 4. 時間はいれで良かったか 5. 講師の話はよかつたか、又よく解つたか 6. 本講座の効果を感じたか、本日は働いたか 7. 本講座は有益であつたか	はい はい はい はい はい はい はい
プログラム	1. 司令着は問題を何の様な形式で提出したか 2. 資料の準備はどうか 3. 公用討議をいかに 4. 批評は足り要約はいいか	講演式 新南其他地域社会の発展 例を引用する為の資料集の作成

長中第二十三号

昭和二十四年六月廿七日 休井

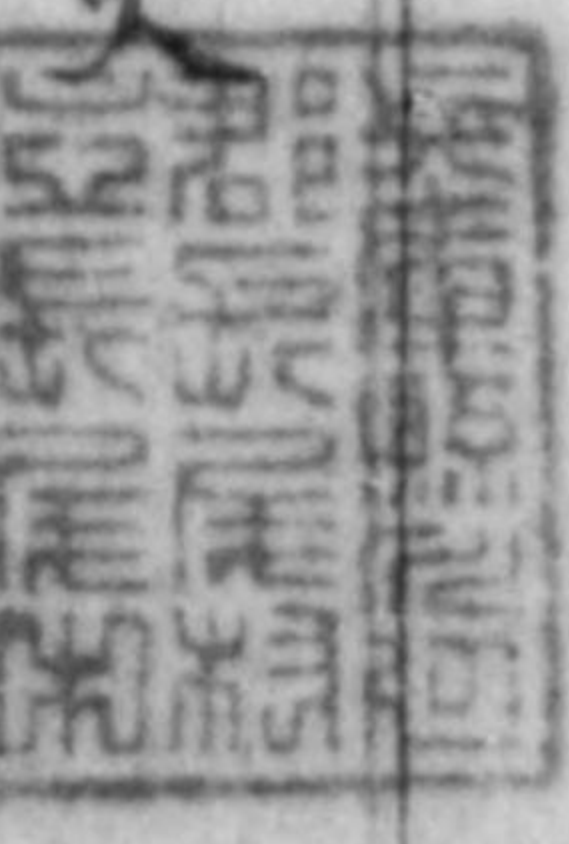
五二六 全編内録

海内

三五

五二五 中内録

兵庫縣洲邊郡長尾町學校長 荒井秀夫



五二三 公報録

海内

四〇

五一六 兵教委武州支局長 殿

六〇

五一五 海内録

海内

五〇

五一三 海内録

海内

六〇

成人教育講座実施報告書提出に關して

首題の件左記の通り報告せしめず

編輯者 身野村

編輯部 兵庫縣三田市本町二丁目

<p>首題 成人教育講座實施報告書</p>		<p>会場 兵庫栗川郡長尾山分校講堂</p>		<p>主催者 長尾村</p>	
月日	所要時間	講師	題目	時間	備考
五月三	二	黒田	地方自治財政	六〇	
五月一七	二	小島	新憲法親戚	五〇	
五月一九	三	原田	新教育	六〇	
五月二三	二五	添島	公衆衛生	四〇	
五月二五	二五	原田	労働問題	四〇	
五月二七	四	武内	現今の金融問題	三五	
六月	三五	柏井	社会保障	三五	

表中央部二十三行

運管委員		委員		委員長	
今里 次郎		荒井 孝夫		夜上 二郎	
大槻 武雄		村主 やす		金田 宗一郎	
武内 功		金田 宗一郎			
金田 宗一郎					
(一) 出席者	総人員	人	青年	老人	出席者
男	男	多所	壮年	○	最初は青年男子が多かったが
女	女	90印	青年		婦人を中心に出席者が
					始終多かった 質問は活発に行
					った
(二) 討論事項	1. 司會者は問題をどの様な形式で提出したか	討論事項を有効ならしめるために			
	2. 資料の準備はどの様なものであるか	加えて講師の講演を頼った。尚高任者			
	3. 討論討議をどの様な形式で行ったか	あり、高任者にその人に司會をせしめ			
	4. 批評した人の要約はどの様なものであるか	三三の講義を除くは統計的資料が不			
	5. 会場はどの様なものであるか	不足あり			
	6. 会場はどの様なものであるか				
(三) 感想					

昭和二十四年 六月十四日
 成人教育講座実施報告書
 会場 山崎小学校夜道堂 小海小学校夜道堂
 主任者 川辺郡小海村立山崎小学校校長 森光 賀

月日	所要時間	講 師	参加人員	備 考
三月廿一日	五時半	小畑 秀雄	一〇〇	山崎小学校
四月一日	五時半	楠井隆三 光永社教主	八〇	山崎小学校
四月二日	四時半	原田修一	七〇	小海小学校
四月十六日	四時半	原田修一	七〇	山崎小学校
四月廿五日	四時半	里田五郎	一〇二	山崎小学校
五月十二日	三時半	副島俊平	六〇	小海小学校
五月廿一日	五時半	竹内 俊二 光永社教主	七一	山崎小学校

（七）運営委員
 光永社教主 森光 賀
 山崎小学校校長 川辺 清
 小海小学校校長 森 光
 山崎小学校教員 小畑 秀雄
 小海小学校教員 原田 修一
 山崎小学校教員 里田 五郎
 小海小学校教員 副島 俊平
 山崎小学校教員 竹内 俊二

出席者 山崎小学校 夜道堂 小海小学校 夜道堂
 山崎小学校校長 川辺 清
 小海小学校校長 森 光
 山崎小学校教員 小畑 秀雄
 小海小学校教員 原田 修一
 山崎小学校教員 里田 五郎
 小海小学校教員 副島 俊平
 山崎小学校教員 竹内 俊二



(二) 軍政部 その他の 視察	(三) 講師	(九) プログラム
四月廿五日 堀教三市長+視察がある 右、外兵殿本武川走高社教主事+支永内。視察が午後五時あり。	7 本講座は有益であったか	はい
	8 本講座の効果をおけるための委員は働いたか	はい
	5 講師の話方はよかったか又よく解ったか	はい
	4 時間はあれでよかったか	はい
	3 みんな熱心で又楽しく時を過したか	はい
	2 会場はきれいで氣持がよいと思つたか	はい
	1 会場はよかつたか入り易い所であつたか	はい
4 批評したり要約したりしたか	はい	
3 公開討議をしたか (一の印をつける)	はい	
2 資料の準備はどうであつたか	はい	
1 司会者は問題を何の様な形式で提出したか	はい	

各講義を中心とした質疑応答の形式で進め、又公開討論法による討議を希望する。本講座の中心は、堀教三市長の講話、視察が午後五時あり。本講座の中心は、堀教三市長の講話、視察が午後五時あり。

A1

昭和二十四年六月十七日

会場 川辺郡東谷中学校講堂

主任者 川辺郡東谷中学校校長 小北仁右衛門

月日	時間	講題	講師	参加人員	備考
五、七	九—三	労働問題	原田修一	一三七	
〃	一—五	厚生	竹内愛二	一三一	
五、九	九—三	民生主義の具體情報	光長信一	一三三	一六名
〃	一—五	法律政治	黒田五郎	一三五	一三名
五、二	九—三	教育	原田みち	一三五	
〃	一—五	法律政治	小畑秀男	一三〇	
五、四	九—三	経済	光長信一	一二四	神井隆三氏欠席、多光長氏に依頼

成人教育講座(実施報告書)

講師

参加人員

備考

R3

		(カ) プログラム			(コ) 講師		
		1. 司会者は問題を何の様な形式で提出したか					
		2. 資料の準備はどの様であったか					
		3. 公開討論をしたか (0印をつける)					
		4. 批評したり要約したりしたか					
		1. 会場はよかつたか、入り易い所であったか	0	はい	はい	はい	はい
		2. 会場はきれいで気がよいと思つたか	0	はい	はい	はい	はい
		3. みんな熱心で又楽しく時を過したか	0	はい	はい	はい	はい
		4. 時間はあつてよかつたか	はい	はい	はい	はい	はい
		5. 講師の話方はよかつたか、又よく解つたか	はい	はい	はい	はい	はい
		6. 本講座の効果をあげるための委員は働いたか	0	はい	はい	はい	はい
		7. 本講座は有益であつたか	0	はい	はい	はい	はい

講師の講演 約一三〇分
 諸問題を中心として自申質疑
 講師回答

講師	講(五)	プロ(九)	出席者		感想
			男	女	
	1. 会場はよかつたか入り易い所であつたか	1. 司會者は問題をどの様な形式で提議したか	26	19	婦人の出席が多かつた。次は青年の出席数が多かつた。壮年特に男子の出席が少かつたのは仕事の関係と思はれる。最初には講師の講話約二時。これを中として自由質疑。講師回答並に會員討論。不十分。
	2. 会場はきれいであつたか	2. 資料の準備はどうか	73	15	
	3. 比喩熱心で又樂々時を過したか	3. 公開討議をしたか(即ち否)	26	15	
	4. 時間はおれであつたか	4. 批評したり要約したりしたか	26	15	
	はい	はい	はい	はい	
	はい	はい	はい	はい	
	はい	はい	はい	はい	
	はい	はい	はい	はい	

	<p>5. 講師の話し方はよいか又々解ったか</p> <p>6. 本講座の効果とありか否かに係り有り <small>（左の）</small></p> <p>7. 本講座は有益であつたか</p>	<p>○はい</p> <p>○はい</p> <p>○はい</p>	<p>✓</p> <p>✓</p> <p>✓</p>
<p>(二) 軍政部 其他視察</p>	<p>一講座を除き他の講座全部に武川事務所社会教育主事 若長信一氏出席の上有益なる助言あり</p>	<p>○はい</p>	<p>✓</p>
<p>1. 講座の目的は達成したか</p>	<p>2. 講座の内容は面白かつたか</p>	<p>3. 講師の話し方はよかつたか</p>	<p>4. 本講座は有益であつたか</p>
<p>5. 本講座の効果をどう思ふか</p>	<p>6. 本講座の効果をどう思ふか</p>	<p>7. 本講座の効果をどう思ふか</p>	<p>8. 本講座の効果をどう思ふか</p>
<p>9. 本講座の効果をどう思ふか</p>	<p>10. 本講座の効果をどう思ふか</p>	<p>11. 本講座の効果をどう思ふか</p>	<p>12. 本講座の効果をどう思ふか</p>

昭和二十四年四月九日

兵庫軍政部教育課長 敬

兵庫県教育委員会 社会教育課長 藤原忠郎

成人教育講座開設計畫書(五回)送付に付

兵庫県下各地区に開設される成人教育講座の計畫書の内一部

計九地区分を五回分として御送りします

五回は四月二十日頃御送りする予定であります

高参考のため未尾に四月十一日から四月二十五日の日割一覽表

を副へておきます

記

一、計畫書外譯

多可地方事務所	四	七	全部	備考
神飾地方事務所	八			
市地方事務所別	開設報告数		備考	

CIVIL EDUCATION SECTION
APR. 9 1949
RECEIVED

追加 加東地方事務所	計	九〇	
多能地方事務所	三	一	
南但地方事務所	八	部	
港路支所	二四	大部	
兵庫縣			

追加
加東地方事務所
南但地方事務所
多能地方事務所
港路支所

RECEIVED
APR 1951

神飾第二一〇号

昭和二十四年三月三十一日

兵教委 神飾支局長

兵教委事務局

社会教育課長殿

成人教育講座開設計画書について

昭和二十四年一月二十一日付兵教委社教第五六号の一を以て
御通牒にたりました標記の件別紙提出致します

兵庫系申布也行事務所

成人教育講座開設計劃書

正

大甲字第 129 号

昭和四年三月二十日

講座用設學所

神崎郡大山村大山

主任者

辻井三九七

兵庫縣教育委員會 敬

成人教育講座用設計書

期日	月日	曜日	時間	所要時間	講題	講師	備考
1	四月十五日	金	午後一時 至四時	三時間	民主主義の概観 民主主義の教育の目標	辻井三九七	○
2	四月二十三日	土	〃	〃	新日本の教育改革 教育と社会との関係	辻井三九七	
3	四月二十七日	水	〃	〃	労働教育	梶田 馨	
4	四月三十日	土	〃	〃	食糧問題 一般の健康と衛生	梶田 馨	
5	五月三日	火	〃	〃	健康と生活との関係 衛生と生活との関係	梶田 馨	
6	五月七日	土	〃	〃	他人の健康と衛生 用と大衆衛生	梶田 馨	

神崎郡大山村大山
三九七
大山村大山
辻井三九七

昭和二十四年三月二十日

講座開設場所 神崎郡越知中學校

文庫縣教育委員會 會 殿

成人教育講座開設計畫書

主任者 楠田馨

No	月日 (曜)	時刻	講 師	備 考
1	四月二十三日 (金)	九時 - 十一時	谷本丹二	新憲法
2	四月二十五日 (日)	三時 - 五時	谷本丹二	親族法
3	四月二十七日 (水)	-	谷本丹二	裁判制度と刑事訴訟
4	四月三十日 (土)	-	辻井三九七	選挙法と政治の現状
5	五月二日 (月)	-	辻井三九七	民主主義の精髄
6	五月四日 (水)	-	楠田馨	民主国に於ける教育の目標
7	五月六日 (金)	-	楠田馨	教育とは何なり及ぼす影響がある
8	五月九日 (月)	-	藤育三	労働教育の現況

市教育委員会 文庫

9	五月十一日水	十三時	保健所はつて 健康を益せようといふ 個人の健康を備へ 目ざして選挙民	岩崎武雄	市川君起矢名中身村
10	五月十日金	〃	〃	岩崎武雄	
1	五月九日(火)	〃	〃	岩崎武雄	
2	五月八日(月)	〃	〃	岩崎武雄	
3	五月七日(日)	〃	〃	岩崎武雄	
4	五月六日(土)	〃	〃	岩崎武雄	
5	五月五日(金)	〃	〃	岩崎武雄	
6	五月四日(木)	〃	〃	岩崎武雄	
7	五月三日(水)	〃	〃	岩崎武雄	
8	五月二日(火)	〃	〃	岩崎武雄	
9	五月一日(月)	〃	〃	岩崎武雄	
10	四月三十日(日)	〃	〃	岩崎武雄	

昭和二十一年三月二十五日

東京教育委員会

東京教育委員会

東京教育委員会

東京教育委員会

東京教育委員会

東京教育委員会

東京教育委員会

東京教育委員会

東京教育委員会

東京教育委員会

東京教育委員会

東京教育委員会

東京教育委員会

昭和二十四年三月廿日

講座開設場所

神崎郡栗原村福本

主任者

山崎武雄

兵庫縣教育委員会会殿

成人教育講座開設計画書

NO	月日(曜)	時刻	所要時間	課目	講師	備考
1	四月十四日(水)	九時—十二時	三時間	民主主義の精髄 民主國に於ける教育の目標 新日本の教育改革	辻井三九七	
2	四月十八日(月)	〃	〃	教育とは絶えず及ぼす影響 労働教育の法規	辻井三九七	
3	四月二十一日(金)	〃	〃	労働教育の法規 労働者の権利と義務	楠田教日	
4	四月二十五日(水)	〃	〃	一般経済情勢と生活法 保健所について	楠田教日	
5	四月三十日(土)	〃	〃	健康を益するものは三病長である 個人の健康と衛生	岩崎武雄	
6	五月四日(水)	〃	〃	目撃した運送争議 親族法	岩崎武雄	
7	五月九日(月)	〃	〃	裁判制度と刑事訴訟 新憲法	谷本内二	
8	五月十三日(金)	〃	〃	日本の政治 地方政治	谷本内二	

兵庫縣教育委員会会殿



昭和二十四年三月二十五日

講座開設場所 兵庫縣神崎郡川辺中学校
 主 任 者 川辺中学校長 内藤隆治

兵庫縣教育委員会殿

成人教育講座開設計画書

NO	月 日 (曜)	時刻	所要時間	課 目	講 師	備 考
1	四月九日 (土)	午後 一時半	二時間	民主主義の精髄	坂 義 雄	
2	四月十七日 (土)		三時間	民間教育	内藤隆治	
3	四月二十三日 (土)		三時間	情報開通の手引	駒田正巳	会場 屋形小学校
4	四月三十日 (土)		三時間	経済と労働	奥平新一郎	

申 奇 那 川 邊 中 学 校

04	1	7	6	5
月	四月	五月	五月	五月
日	廿五日	十三日	十四日	十七日
(期)	(土)	(土)	(日)	(日)
報	報	報	報	報
時	二時	三時	三時	四時
分	三十分	十分	十分	十分
目	五月五日	社會保障制度	公衆衛生	政治
場		山内鉄次	盛野慶二	增田徳二
校				小畑小学校

本報編輯委員會公報

五月五日

五月五日

五月五日

小畑君入道中學校

昭和二十四年三月二十二日

講座開設場所 瀬加中學校

主催者 奥平 順一

兵庫縣教育委員会

成人教育講座開設計畫書

8	7	6	5	4	3	2	1	10.
五、一四	五、一七	四、三〇	四、二三	四、一六	四、九	四、二	三、二五	月、日、曜
土	土	土	土	土	土	土	金	時刻
一三〇一 一七〇	一三〇一 一七〇	一三〇一 一七〇	一三〇一 一七〇	一三〇一 一七〇	一三〇一 一七〇	一三〇一 一七〇	九 一〇	所要 時間
四	四	四	四	四	四	四	三	講座 題目
新日本教育改革 新小學校教育	民間教育	食糧問題	民主主義の精神	新法法	社会保障制度	公衆衛生	法制	経済と労働
瀬加校	川辺校	瀬加校	甘地校	瀬加校	福加校	今校校	田原校	福加校
奥平 順一 木地 義二	内藤 隆治	奥平 順一	奥平 義雄	奥平 順一	山内 鉄次	盛岡 慶治	增田 徳二	奥平 順一 奥田 正巳 奥平 順一 奥平 新吉
合同								備考 早稲倉と 合同

神崎郡瀬加中學校

昭和二十四年三月十九日

講座開設場所 神崎郡八種小學校

主任者 盛野慶治

兵庫縣教育委員会會殿

成人教育講座開設計畫書

No	月日(曜)	時刻	所要時間	課目	講師	備考
1	三月廿一日(土)	七時	二時間	情報簡易手引	駒田福中教諭	
2	三月廿二日(土)	〃	四時間	經濟と労働	荒木新太郎	
3	三月廿三日(土)	〃	四時間	法政	增田校長	
4	三月廿四日(土)	〃	三時間	公衆衛生	盛野慶治	
5	三月廿五日(土)	〃	二時間	社会保障制度	山内鉄次	
6	三月廿七日(土)	〃	二時間	民主主義の精髓	堀義雄	
7	三月廿八日(土)	〃	三時間	民間教育	内藤隆治	

陸軍

0

昭和廿四年三月十八日

兵庫縣教育委員會 會 殿

神崎郡 船津村 山田村 学校組合 立 神南中学校 校長 常陰信太郎

成人講座開設計画報告の件

標記の件、左記の通り報告致します。

記

月 日	時 間	場 所	講 師	講 座 内 容
四月十六日	午前八時より 午後三時まで	神南中学校	神師支局 藤永庚子郎	法政第五、大限 社会保障制度
四月廿三日	左	左	香呂中学校 水谷奉雄	民主主義の精髓 民間教育
四月三十日	左	左	中寺中学校 田中 精	経済と労働
五月七日	左	左	神南中学校 常陰信太郎	情報に関する手引 公衆衛生
五月十四日	左	左	豊富中学校 塩田又次	法制政 第一、二、三、四限

神崎郡神南中学校



昭和二十四年三月二十六日

兵庫縣教育委員會殿

主任者

講座開設場所

神崎郡豊富中學校

神崎郡豊富中學校校長
塩田又次

成人教育講座開設計劃書

NO	月日曜	時刻	時間	課目	講師
1	四月九日(土)	自前八時 至三時	六時間	公衆衛生	常陸信太郎
2	四月十六日(土)	令	令	法政	塩田又次
3	四月二十三日(土)	令	令	法政 社会保障制度	藤永講師
4	四月三十日(土)	令	令	民間教育	水谷孝雄
5	五月七日(土)	令	令	経済と労働	田中精

50

神崎郡豊富中學校

昭和二十四年三月二十四日

講座開設場所 兵庫縣神崎郡香呂中學校

主 任 者 香呂中學校長 吉 誠 義 一

兵庫縣教育委員會 會 殿

成人教育講座開設計畫書

No	月 日	時刻	所要時間	課 目	講 師	備考
1	四月十日 土曜日	午前八時	六時間	經濟と労働	田中 精	
2	四月十三日 土曜日	午前八時	一時間三十分	情報園の手引	常陸信太郎	
3	四月二十日 土曜日	午前九時	四時間三十分	公衆衛生	常陸信太郎	
4	四月三十日 土曜日	午前八時	六時間	法 政	塩田 又治	
5	五月七日 土曜日	午前八時	三時間	法 政	藤永庚子郎	
6	"	午前二時	三時間	社会保険制度	藤永庚子郎	
7	五月十日 土曜日	午前八時	一時間三十分	民権の精髓	水谷 孝雄	
8	"	午前二時	四時間三十分	民間教育	水谷 孝雄	

神崎郡香呂中學校

昭和二十四年三月二十六日

講座開設場所 兵庫縣神崎郡中寺村之中寺中学校

兵庫縣教育委員会教

主任者

田中

精



成人教育講座開設計畫書

NO	月日(曜)	時刻	所要時間	課目	講師	備考
1	四月九日(土)	午前九時-三時	五時間二分	法政 社会保障制度	藤永甲子郎	
2	四月十六日(土)	午前九時-三時	五時間二分	民主主義の精髓 民間教育	水谷孝雄	
3	四月二十三日(土)	午前九時-三時	五時間二分	經濟と労働	田中精	
4	四月三十日(土)	午前九時-三時	五時間二分	情報に關する手引 公衆衛生	常陰信太郎	
5	五月七日(土)	午前九時-三時	五時間二分	法政	塩田又次	

神崎郡中寺中学校